



マスク着用が顔の魅力に及ぼす効果を検証

研究成果のポイント

- ・マスクを装着したときと外したときの顔の印象変化を実証的に検証した。
- ・白色マスクを装着したときは外したときよりも、見た目の魅力が下がった。
- ・もともと魅力の高い人ほどこの魅力低下は大きく生じた。

研究成果の概要

本研究はマスクの装着が見た目の魅力に及ぼす影響を実証的に調べたものです。マスクは口元を隠すため、見た目の魅力を損なう可能性があります。逆に装着した方が魅力が高いと主張する立場もあります。北海道大学大学院文学研究科の河原純一郎特任准教授は、中京大学の宮崎由樹助教と共同で、マスクの装着が魅力に及ぼす効果を測定しました。その結果、本人及び見る人の性別に関わらず、マスクを装着すると見た目の魅力が低下することがわかりました。また、もともと魅力度が高い人ほどマスクを装着することで魅力が大きく低下しました。

こうした効果が起こるのは、2つの原因が考えられます。1つはマスクを装着することで見た目の健康さが下がり、ネガティブな印象を生むこと、もう1つは個人差に関わる要因です。肌の状態が良いなど、もともと魅力的な特徴がマスクで隠されると、その人の魅力は下がります。一方、肌の傷やニキビなどが隠されることで、魅力が上がる可能性があります。

これらの2つの要因が合わさって、マスク装着が見た目の魅力に及ぼす効果が生じていると考えられます。

論文発表の概要

研究論文名：The Sanitary-Mask Effect on Perceived Facial Attractiveness. (衛生マスクを装着することが顔の見た目の魅力に与える効果)

著者：宮崎由樹(中京大学)、河原純一郎(北海道大学大学院文学研究科)

公表雑誌：Japanese Psychological Research, Vol. 58, No. 3 (日本心理学会の国際誌)

公表日：日本時間 2016年7月公開予定 ※報道解禁の指定なし

研究成果の概要

(背景)

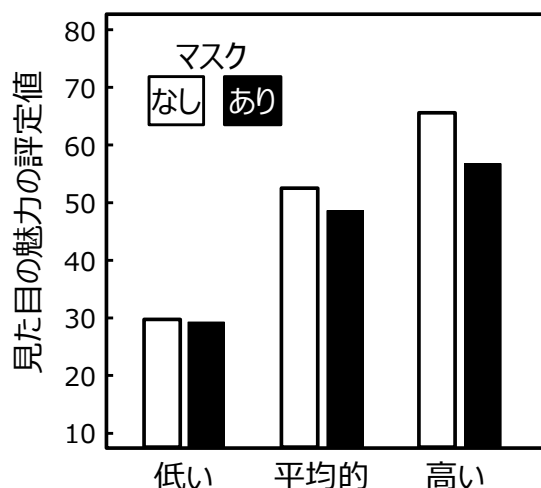
風邪や花粉症対策といった機能に加えて、マスクにはデザインや見た目などの装飾品としての機能も重視されるようになってきました。本研究グループは、ピンク色のマスクは白色のマスクよりも見た目の魅力評価を高くする効果があることを明らかにしましたが、そもそもマスクを装着することはしない場合に比べて魅力を高めるのか、そうでないのかという根本的な問題に本研究で取り組みました。

(研究手法)

白色のマスクを付けた20～30歳の顔画像(男性66名, 女性66名)をコンピュータ画面上に1枚ずつ呈示し, 18歳以上の男女合計210名の評価者が画像1枚ごとに感じる外見的魅力や健康さを1～100の範囲で評定しました。

(研究成果)

人物の性別, 評価者の性別に関わらず, マスクを付けた顔画像のほうがマスクを付けない顔画像よりも外見的魅力が低く評価されました。特にこのマスクの影響は, もともと魅力の高い顔画像で強く起こりました。



お問い合わせ先

所属・職・氏名：北海道大学大学院文学研究科 特任准教授 河原 純一郎 (かわはら じゅんいちろう)

TEL : 011-706-4154 E-mail : jkawa@let.hokudai.ac.jp

ホームページ : <http://www.let.hokudai.ac.jp/staff/4-1-09>

<http://cogpsy.let.hokudai.ac.jp/~f209/index.html>